

科目名		建築設備			
担当教員		伊與部 聖奈		実務授業の有無	有
対象学科	建築デザイン科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	授業形式	講義	時間数	16時間
授業概要、目的、授業の進め方		授業はプリントを使用し、分かりやすい言葉を用いたり図を描くなどして、イメージがしづらく取っ掛かりにくい設備分野の理解、知識習得を目的とする。また、練習問題を実施し、どのような出題形式で問われるかも合わせて確認する。 後期では、給排水衛生設備、換気設備、電気設備、照明設備、とどの試験でも中心的に問われる分野を学習する。 後期に目指す2級建築施工管理学科試験、そしてその後の2級建築士学科試験を見据えて、詳しく学習する。			
学習目標 (到達目標)		2級建築施工管理学科試験、2級建築士試験合格レベルの知識定着を目標とする。			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		初学者の建築講座 建築設備 (第四版)			
NO.	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考	
1	照明設備			照明設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。	
2	昇降設備			昇降設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。	
3	空調調和設備			空調調和設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。	
4	消防設備			消防設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。	
5	設備図面・設備記号			設備図面・設備記号を理解し、重要事項を読み取ることが出来る。	
6	省エネ設計			省エネ設計における設備の種類や特徴、問われる部分を整理して理解し、その分野も問題を解くことが出来る。	
7	※各分野ごとに評価テストを行う。(4回を予定)				
8	※毎回の授業で授業要点レポートに取り組む。				
9					
10					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意	
評価テスト	授業要点レポート			各分野ごとに評価テストを行う。評価テストに加え、授業ごとに授業要点レポートの提出を課すのでその評価も加える。課題提出を課した場合は、提出の有無、提出期限の厳守、課題内容によって評価をする。評価テストはもちろん、日頃の学習を疎かにすることなく、授業に臨むこと。	
80 %	20 %	%	%	建築設備は快適な居住環境を整えるためになくてはならないもの。身の回りで使われているところを探し、イメージを持って学習しましょう。	
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		意匠設計実務4年			